

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	人間論Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	0186		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	一般科目		対象学年	3	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	(a) 河合隼雄『コンプレックス』(岩波新書) (b) 検定教科書『倫理』 (c) プリント				
担当教員	垂谷 茂弘				
到達目標					
1 宗教の多様なあり方を説明できる。 2 ユダヤ教の思想としての特質を説明できる。 3 キリスト教の思想としての特質を説明できる。 4 宗教の近代・現代の問題を説明できる。 5 人間心理をめぐる思想を説明できる。 6 青年期の意義を学び、現代社会における人生の意味を説明できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	宗教の多様なあり方を説明できる。	宗教の多様なあり方を理解できる。	宗教の多様なあり方を理解できない。		
評価項目2	ユダヤ教の思想としての特質を説明できる。	ユダヤ教の思想としての特質を理解できる。	ユダヤ教の思想としての特質を理解できない。		
評価項目3	キリスト教の思想としての特質を説明できる。	キリスト教の思想としての特質を理解できる。	キリスト教の思想としての特質を理解できない。		
評価項目4	宗教の近代・現代の問題を説明できる。	宗教の近代・現代の問題を理解できる。	宗教の近代・現代の問題を理解できない。		
評価項目5	人間心理をめぐる思想を説明できる。	人間心理をめぐる思想を理解できる。	人間心理をめぐる思想を理解できない。		
評価項目6	青年期の意義を学び、現代社会における人生の意味を説明できる。	青年期の意義を学び、現代社会における人生の意味を理解できる。	青年期の意義を学び、現代社会における人生の意味を理解できない。		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 (E) 学習・教育到達度目標 (F)					
教育方法等					
概要	現在、あまりにも常識的で、当たり前と考えている「ものの見方」も、実は特定の歴史的、文化的背景の産物に他ならないことを学ぶことで、相対立する多様な価値観や生き方を理解し、主体的に考えるための基盤を養いたい。				
授業の進め方・方法	配布する資料・レジュメに沿って説明する。現代の諸問題と密接に結びつけて解説する。とくに前期は、時事の出来事やニュースを頻繁にプリントで取り上げるため、進度に変更が生じる。1. 授業のはじめに、前回の授業内容とその日の学習事項・ポイントを確認する。2. 「自己理解」に役立つよう、様々な問題を自分に引きつけて自らの問題として考え講義を受ける。3. 学生各人は、質問に積極的に答えるとともに、自ら積極的に質問し、授業に主体的に参加するように努める。				
注意点	【評価方法・評価基準】 前期・後期ともそれぞれ2回の定期試験によって評価する。ただし、前期は2回の定期試験それぞれを同じ重みで評価するが、後期は中間試験を4割、仕上げとなる学年末試験を6割として計算する。なお、成績の評価基準は、到達目標の各項目について「ルーブリック」に示している。 【備考】過去のテスト問題は、読み物としても耐えうるものとなるように努めている。したがって、問題集や参考書代わりに活用でき、理解の指針ともなる。なお、古代ギリシャ～19世紀の西洋哲学史は、4年次哲学の授業で体系的に学習する。教科書(a)は、後期に扱うが、身近なテーマに満ちており、前期から各自で読み進んでほしい。 【教員の連絡先】 研究室 B棟3階 (B-307) 内線電話 8909 e-mail: tarutani@attマークmaizuru-ct.ac.jp (アットマークは@に変えること。)				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	シラバス内容の説明, 宗教とはなにか?	1 宗教の多様なあり方を説明できる。 4 宗教の近代・現代の問題を説明できる。	
		2週	宗教におけるユダヤ教・キリスト教・イスラム教の位置づけ	1 宗教の多様なあり方を説明できる。 4 宗教の近代・現代の問題を説明できる。	
		3週	ユダヤ教1 古代イスラエル (古代ヘブライ, 民族共同体イスラエル)	2 ユダヤ教の思想としての特質を説明できる。	
		4週	ユダヤ教2 ユダヤ教の成立と展開 (王制と預言者, バビロン捕囚と律法)	2 ユダヤ教の思想としての特質を説明できる。	
		5週	ユダヤ教3 「栄光の神学」から「苦難の神学」へ, ユダヤ教諸派	2 ユダヤ教の思想としての特質を説明できる。	
		6週	イエスの思想1 律法の徹底化による止揚	3 キリスト教の思想としての特質を説明できる。	
		7週	イエスの思想2 イエスの提示した新たな価値観	3 キリスト教の思想としての特質を説明できる。	
		8週	後期中間試験		
	4thQ	9週	イエスの思想3 近現代社会を考える	3 キリスト教の思想としての特質を説明できる。	
		10週	キリスト教の成立 教会の成立, パウロの思想	3 キリスト教の思想としての特質を説明できる。	
		11週	宗教改革 その思想的特徴, 近代国家との関係	3 キリスト教の思想としての特質を説明できる。 4 宗教の近代・現代の問題を説明できる。	
		12週	思想としての心理学 無意識という現象	5 人間心理をめぐる思想を説明できる。	
		13週	フロイトの失錯行為, 無意識という考え方 (防衛機制)	5 人間心理をめぐる思想を説明できる。	
		14週	言語連想テストと無意識, フロイト思想の現代的意義	5 人間心理をめぐる思想を説明できる。	

		15週	『コンプレックス』の読書案内	5 人間心理をめぐる思想を説明できる。 6 青年期の意義を学び、現代社会における人生の意味を説明できる。
		16週	後期期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	情報技術の進展が社会に及ぼす影響、個人情報保護法、著作権などの法律について説明できる。	1	前1
			環境問題の現状についての基本的な事項について把握し、科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響を説明できる。	1	前3,前4,前7,前9,前10,後1
			国際社会における技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。	1	前4
			全ての人々が将来にわたって安心して暮らせる持続可能な開発を実現するために、自らの専門分野から配慮すべきことが何かを説明できる。	1	
	情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	1	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0